

武蔵野赤十字病院



クラウド型セキュリティソリューション Cisco Umbrella を導入し、インターネット通信そのものを監視。初期費用を抑え、シンプルで安全なネットワーク環境を実現。

武蔵野赤十字病院は、近隣の病院において対応が難しい疾患の専門的な検査や治療、救急医療、周産期医療や高度な入院治療、手術などの機能を提供。総合病院として、網羅的で質の高い医療を効率良く提供することで地域の医療を守っています。

採用のポイント

ハードウェアが不要の Cisco Umbrella を導入することで、簡単且つ、初期費用をかけずに精度の高いセキュリティ環境を実現できました。医師の持ち込み PC へのソフトウェアのインストールやデータ更新をする必要がないため、管理者側の負担がほとんどないことが採用の決め手になりました。

武蔵野赤十字病院
医療情報管理課 岡田謙二郎 氏

病院の医師控室では、医師の個人 PC の持ち込み使用が許可されており、職員サービスの一環としてインターネット接続環境が提供されています。セキュリティ対策として、すでにファイアウォールや不正侵入検知を導入していましたが、出入りが多い医師の個人 PC に対するセキュリティ対策には限界がありました。

課題

セキュリティ対策が不十分な個人 PC の利用も混在する環境下で、セキュリティ脅威から大切なデータを守りたい
医師が個人 PC を持ち込んで利用する環境の中で、なるべく初期費用をかけずに、シンプルで安全なネットワーク環境のあり方を模索していた。

ソリューション

インターネット通信そのものを監視するクラウド型セキュリティソリューション Cisco Umbrella を導入
クラウド型セキュリティソリューションの Cisco Umbrella が通信を監視し、セキュリティ脅威のある Web サイトや悪意のあるサービスへの接続を自動的にブロック。

結果～今後

今までのセキュリティ サービスとは異なり、インターネットに接続する表層で通信を監視。潜在的な脅威までも見える化が可能に
管理者はダッシュボードでマルウェアや潜在的な脅威の検出状況をモニター。今後は、院外でも通信のセキュリティが確保される Cisco Umbrella ローミング クライアントの採用も検討。

Cisco Umbrella

悪意あるサイトへの接続を DNS やプロキシ機能でブロックする、全く新しい発想のクラウド型のセキュリティ サービスです。社内、社外を問わずすべてのユーザを簡単に保護でき、インターネット上の脅威による被害をいち早く防ぎます。

武蔵野赤十字病院



規模 従業員 1502 名 (2019 年 1 月時点)
所在地 東京都武蔵野市境南町 1 丁目 26 番 1 号
創立 1949 年
病床数 611 床
URL <http://www.musashino.jrc.or.jp/>

導入パートナー会社

NTT Data
NTTデータジェトロニクス株式会社
<https://www.nttdata-getronics.co.jp/>



お問い合わせ先

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>